

人 選

2/4 (木)

支える人 大きな役割

障害者スポーツでは、競技する人だけでなく、支える人も大きな役割を果たします。

二〇二二年に開かれたロンドンパラリンピックでは、県内から出場した高田 稔浩選手をはじめ世界各国から約四千二百人の選手が参加し、力と技を競い合っ

て大きな感動を与えてくれました。その運営に多くのロンドン市民が関わり、市民全体で大会を盛り上げていたことも、非常に印象的でした。

毎年、国内でも障害者スポーツの祭典「全国障害者スポーツ大会」が開催されており、一八年には県内で開かれます。選手・役員約五千五百人が県内外から集まり、陸上や水泳など十二競技を行う予定です。

いまいま ライフ

障害者スポーツ②

中級指導員などがあり、初級指導員は、十八歳以上で初級指導員養成講習会を修了すれば誰でもなることができます。中級指導員は、障害や競技に関する専門知識がある人や一定の活動経験がある人で、中級指導員養成講習会を修了すれば、なることができます。

県では毎年、障害者スポーツ指導員の養成講習会を実施しています。受講者の皆さんは、講習会を通して目の見えない人への音での誘導方法、車いすの人特有の競技ルール、知的障害のある人へは繰り返し指導することなど、それぞれの障害に応じた配慮の仕方やルールなどを学び、障害や障害者スポーツへの理解を深めています。



初級指導員養成講習会では、毎年、嶺北会場と嶺南会場で行う講習会を開催しています。二二年度の嶺北会場は、昨年九月に終了。嶺南会場は今年三月上旬に敦賀市で開催予定です。受講無料で、興味のある人は誰でも受講できます。ぜひ参加してみてください。詳しくは県障害福祉課ホームページ(P)でも紹介しています。

また、聴覚障害のある人のコミュニケーションや情報取得を支えるため、手話通訳者や要約筆記者なども活躍しています。県では毎年、手話や要約筆記の知識、技術を習得するための講座を開いています。十八歳以上で養成講座を修了すれば、誰でも手話奉仕員、要約筆記奉仕員になります。さらなるステップアップを目指す人は、専門性の高い養成講座を受講し、試験に合格すること

は、電話通訳者や要約筆記者として講演会や式典で活躍していただくことも可能です。

一八年の「全国障害者スポーツ大会」では、開会式案内などを手話や要約筆記で伝えるボランティアが必ずありますので、ぜひ参加してください。養成講座に申し込みは、毎年四月ごろに養成講座の受講者募集が始まります。

また、聴覚障害のある人のコミュニケーションや情報取得を支えるため、手話通訳者や要約筆記者なども活躍しています。県では毎年、手話や要約筆記の知識、技術を習得するための講座を開いています。

十八歳以上で養成講座を修了すれば、誰でも手話奉仕員、要約筆記奉仕員になります。さらなるステップアップを目指す人は、専門性の高い養成講座を受講し、試験に合格すること

初級指導員講座は無料

障害者スポーツ指導員養成講習会の陸上競技実技講習
〓 昨年10月20日、福井市福町の県陸上競技場で

一八年の全国障害者スポーツ大会に向け、県民が心を合わせ、一緒に盛り上げていきたいと思います。

(県障害福祉課)